

4 復職しやすい環境づくり

休職、退職によって職場を離れた獣医師は、情報や技術の不足等に不安を感じていることが多く、再就職しない理由にそれをあげる者も少なくない。復職をめざす獣医師等を対象として、職場復帰・再就職に必要な最新知識の修得、獣医療技術の向上を目的とした「女性獣医師等就業支援研修」（農林水産省補助事業）を、家畜保健衛生所、動物検疫所、NOSAI の家畜診療施設等のご協力を得て実施した。受講者は平成 27 年度 6 名、28 年度 9 名、29 年度 9 名、30 年度 7 名で、平成 29 年度は受講者のうち 7 名、30 年度は 5 名の女性獣医師が再就職された。

研修受講対象者、希望者をいかに把握し、連絡して研修の開催等の情報を伝えるかが課題であり、研修の開催案内、受講者募集は、日本獣医師会ホームページ、日本獣医師会雑誌に掲載したほか、他誌等にも積極的に掲載を依頼し、29 年度からは、全国家畜衛生職員会会報、家畜診療、畜産コンサルタント、臨床獣医に掲載された。さらに獣医大学にも依頼し、30 年度に 1 大学の同窓会誌に掲載された。

また、相談体制、情報の提供も必要であり、子育てが一段落した後には復職したロールモデル、休暇中も気軽に情報交換、相談できる相談者の存在が重要であることから、ポータルサイトのロールモデルを充実させるとともに、相談体制の強化についても検討を行った。

○ 今後の課題

いったん離職し再就職を考えている女性獣医師にどのようにアプローチするかは、引き続き重要な課題である。また、離職している女性獣医師に再就職を検討してもらうきっかけを作るためにも、地方獣医師会や大学と連携すること等によって、離職中も働きかけを続けられる、双方向で連絡を取り合える何らかの方策の検討を引き続き行い、可能なところから進める必要がある。